

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-141013

(P2014-141013A)

(43) 公開日 平成26年8月7日(2014.8.7)

(51) Int.Cl.

B 4 2 D 3/14 (2006.01)

F 1

B 4 2 D 3/14

B

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2013-10717 (P2013-10717)
 (22) 出願日 平成25年1月24日 (2013.1.24)

(71) 出願人 591046179
 株式会社デザインフィル
 東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号
 (74) 代理人 100162961
 弁理士 宮崎 悟
 (74) 代理人 100105429
 弁理士 河野 尚孝
 (74) 代理人 100146927
 弁理士 船越 巧子
 (72) 発明者 鈴木 繁幸
 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比
 寿ビジネスタワー9F 株式会社デザイン
 フィル内

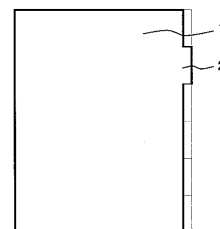
(54) 【発明の名称】 製本物の簡易検索機能

(57) 【要約】

【課題】 冊子に印刷された情報に対して、複数の観点
 ないし基準に基づく検索が可能にする。

【解決手段】 冊子の背以外の辺に所要の切り込みを設
 けることによって、切り込みの数だけの観点ないし基準
 のレベル数の検索が簡易に行えるようにする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

冊子の各頁ごとに、その頁に掲載されている情報の観点ないし基準のレベルに対応する辺部分が切り残されていることを特徴とする冊子

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、各頁に細工を施し、テーマに適合する頁だけを選択的に閲覧できる冊子に関する。

【背景技術】

10

【0002】

冊子の頁には、各種の情報が表現されている。そして、その各種情報は、ある観点ないし基準で配列される。

その観点ないし基準に従って情報を見ていくことが通常である。しかし、ときどき、その冊子が設定した観点ないし基準と異なる観点ないし基準に基づいて、それらの情報にアクセスすることを望むことがあり得る。

【0003】

例えば、A自動車販売会社（ディーラー）の各店舗のお奨めする飲食店を紹介する冊子があったとする。そのときに、そのお奨めする飲食店がある地域（町）と、それらの飲食店が提供する食べ物のジャンル（和食・洋食・中華等）とに関して、分けられていたならば、ある地域で食事がしたいときの検索にも耐えられるであろうし、地域には拘らないで、食べ物のジャンルで検索することにも耐えられるようになるであろう。

20

【0004】

しかし、従来の冊子（広告紹介誌等）では、一つの観点ないし基準に基づいて配列することしか、行われていなかった。すなわち、地域ごとに纏めて配置して、地域基準に関する検索には頁を順にめくることで対応させ、食べ物のジャンルに関する検索には、要すれば、巻末に索引を用意する程度のことしか行われてこなかった。

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

30

本発明は、冊子に印刷された情報に対して、複数の観点ないし基準に基づく検索が可能にすることを課題とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本発明は、冊子の背以外の辺に所要の切り込みを設けることによって、切り込みの数だけの観点ないし基準のレベル数の検索が簡易に行えるようにする点に特徴を有する。

すなわち、本発明は、冊子の綴じられている背以外の辺の辺長を所要等分し、各頁の印刷されている情報に基づき、適合する観点ないし基準レベルの対応する部分だけを残して他の部分を切り落とすことを特徴とする。

【発明の効果】

40

【0007】

本発明の冊子は、希望する観点ないし基準レベルの残された辺部分に指を当て、その指に当たった頁だけを順の開いていけば、その観点ないし基準レベルの合致した情報が記載された頁だけを順次読むことができるという、格別の利点が得られる。

【図面の簡単な説明】**【0008】**

【図 1】図 1 は、冊子の 1 頁を示す説明図である。

【図 2】図 2 は、冊子を開いたときの片方を示す説明図である。

【発明を実施するための形態】**【0009】**

50

図 1 は、冊子の 1 頁を示す説明図である。図 1 において、1 は冊子の任意の 1 頁である。1 の表面には、情報が記載されており、その情報に適合する観点ないし基準レベルに応じて、切り残し 2 を残す。図示例では、観点ないし基準のレベル数は、6 としてある。

図 2 は、冊子を開いたときの片方を示す説明図である。図 2 では、切り残し 2 が、2 - 1、2 - 2、2 - 3、2 - 4、2 - 5 および 2 - 6 のように、全て見えるが、それらは各頁に一つずつ残されており、全体として、全てが見えるわけである。

【 0 0 1 0 】

例えば、2 - 1 は、和食の店舗を、2 - 2 は洋食の店舗、2 - 3 は中華の店舗、・・・等を表すとする。この冊子を手にした人は、例えば洋食を供する店舗を検索するとすると、2 - 2 の切り残しの部分に指を持ち、ページをめくると、洋食を供する店舗の記事が次々に現れ、他の食べ物のジャンルの記事を掲載したページが現れることがない。

10

【 0 0 1 1 】

言うまでもなく、ある地域で何か食事をしたいときにその地域にどのようなジャンルの食事を供する店舗があるか、という情報を得ようとするときには、その地域の情報が掲載されているページを索引で知り、そのページを開くことになる。地域ごとにページが連続していれば、ページをあちこちに飛ばす必要はない。

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 1 2 】

本発明の冊子によれば、検索が、所望の観点ないし基準のレベルに基づいて、簡便に、且つ、短時間に、行うことができ、冊子の利用者の利便が非常に高いといえる。

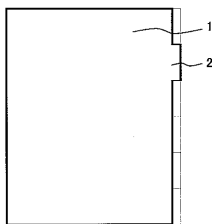
20

【 符号の説明 】

【 0 0 1 3 】

- 1 : 冊子の任意の頁
- 2 : (辺の) 切り残し

【 図 1 】



【 図 2 】

